

コロナに負けるな！第2号

～キラリンからなめりかわの子供たちへ～

みなさん、元気になっていますか？今回は、コロナウイルスの問題で「よく耳にする言葉の意味」について学習するよ。クイズもあるので、チャレンジしてみてね。



コロナウイルスの問題でよく聞く言葉…
カタカナが多い！みなさんは分かりますか？

小学生向け(中学生も分かりますか？)

チェック

ステイホーム

外出をひかえ、家にいること。



ソーシャルディスタンス

人と人とのきよりを保つ(たもつ)こと。



クラスター

集団(集まり)のこと。感染(かんせん)した人の集団のことに使い、集団で感染することをクラスター感染ともいう。

オーバーシュート

爆発的(ばくはつてき)に患者(かんじゃ)がふえること。

ロックダウン

都市を封鎖(ふうさ)すること。外出の制限(せいげん)や外での活動、移動(いどう)の禁止(きんし)を意味する。

中学生向け(小学生はチャレンジ!)

パンデミック

世界的に感染（かんせん）が広がること。

WHO

世界保健機関（せかいほけんきかん）。世界の人の健康を守るために設立された国連の機関の一つ。



COVID（コビッド）-19

WHOが決めた新型コロナウイルスの病気の名前。コロナ（CO）ウイルス（VI）の病気（D）のこと。ウイルスの表面にコロナ（王冠）の形をしたたんぱく質の突き出したものをもつ。

コロナ禍（か）

「禍」はわざわいの意味。「新型コロナウイルスによる被害（ひがい）」の意味で使われる。

ECMO（エクモ）

肺の働きが弱くなった患者の血液を体外に出し、酸素を入れてから体に戻す医療機器（いりょうきき）のこと。

アビガン

日本の製薬会社（せいやくがいしゃ）が開発した新型インフルエンザの治療（ちりょう）薬。新型コロナウイルスによる肺炎の治療薬としても期待されている。

レムデシビル

アメリカの製薬会社が開発したエボラ出血熱（主に、アフリカで流行したエボラウイルスによる発熱や出血を伴う病気）の治療薬。新型コロナウイルスによる肺炎の治療薬としても期待（きたい）されている。

クイズです！○にあてはまる言葉は何？

全部言えたら、コロナ問題のキーワードはバッチリです！

(⑥～⑧はチャレンジ問題です)

① 「お家にいようね！」 → ステ○ ホー○



② 「となりの人とくっつかないでね！」 → ソーシ○○ ディス○○

③ 「富山県でも発生したね。同じ施設（しせつ）での集団感染（しゅうだんかんせん）」 → クラ○タ○

④ 「患者（かんじゃ）が爆発的（ばくはつてき）に増えること。サッカーで使いそうな言葉だね」 → オー○○ シュ○○

⑤ 「まちをとして、外に出ることや移動（いどう）することをきびしく制限（せいげん）すること」 → ロッ○ダ○○

⑥ 「肺（はい）の働き（はたらき）を助ける病院にある機械（きかい）だよ！」 → EC○○(エ○モ)

⑦ 「新型コロナウイルスによる病気の名前」

→ COV○D (コ○ッド) —○9

⑧ 「世界的に感染（かんせん）が広がること」 → パン○○ッ○